

公務員を、もっと身近に



公務員採用市場総括 2025 (令和6年度) 年卒版



株式会社 文化放送 キャリアパートナーズ

就職情報研究所

【前提・補足説明】 回答区分・凡例の表記について

今回の調査では、凡例内で「**複数数の調査**」、および「**学生の区分**」を分けて表現しており、グラフでは **赤枠内** の表記をしています。

■表記1	表記	調査時期	定義	対象	対象	対象
調査種類	公務員調査	2024年秋	今回の調査	自治体	大学	学生
	一般調査	2024年夏	企業向け調査	企業	大学	学生
■表記2	表記	n数	定義・意味			
採用側 (自治体/企業)	25卒自治体	217団体	2024年秋時点での自治体の回答			
	25卒企業	180社	2024年夏時点での企業の回答			
■表記3	表記	n数	定義・意味			
学生側[1] 調査・時期	公務員調査	391名	公務員調査への回答(2024年秋回答)			
	一般調査	329名	一般調査への回答 (2024年夏回答)			
学生側[2] 志望 ※公務員調査内で	25卒企業専願	98名	志望先が「企業のみ」			
	25卒公務員専願	134名	志望先が「公務員のみ」			
	25卒併願以上	293名	志望先が「公務員のみ」+「公務員併願(159名)」			
学生側[3] 内定・承諾 ※公務員調査内で	25卒公務員内定	249名	公務員内定「取得」(承諾・未承諾問わず)			
	25卒公務員承諾	181名	公務員内定「承諾」			
	25卒企業承諾	184名	企業 内定「承諾」			



■調査概要

No	調査名称	対象	調査期間			回答数
[1]	公務員 採用動向調査	自治体	2024年9月17日	～	2024年10月9日	217団体
[2]	大学 就職・キャリア支援活動調査(公務員版)	大学	2024年9月17日	～	2024年10月9日	166校・169キャンパス
[3]	学生 就職活動調査(公務員版)	学生	2024年9月14日	～	2024年10月9日	391名

※参考:2024年卒向け一般調査(企業採用動向調査)

[1]	企業 採用動向調査	企業	2024年6月7日	～	2024年6月24日	180社
[2]	大学 就職・キャリア支援活動調査	大学	2024年6月7日	～	2024年6月24日	195校・201キャンパス
[3]	学生 就職活動調査	学生	2024年6月13日	～	2024年7月5日	329名

[調査主体](株)文化放送キャリアパートナーズ 就職情報研究所 [調査方法]Webアンケート

■回答詳細(公務員版)

[1]公務員 採用動向調査

■エリア	2025卒	2024卒	2023卒
北海道・東北	32	32	25
関東	40	46	41
中部	43	40	34
近畿	33	34	18
中国・四国	32	25	20
九州・沖縄	37	42	27
合計	217	219	165

■区分	2025卒	2024卒	2023卒
都府県庁	22	15	12
市・区役所	181	192	148
町・村役場	13	11	5
その他	1	1	0
合計	217	219	165

[2]大学 就職・キャリア支援活動調査

■エリア	2025卒	2024卒	2023卒
北海道・東北	24	27	21
関東	72	82	89
中部	21	26	21
近畿	31	29	27
中国・四国	8	12	16
九州・沖縄	13	18	14
合計	169	194	188

[3]学生 就職活動調査

2025卒			
■属性	文系	理系	総計
男性	31.7%	15.6%	47.3%
女性	44.2%	6.6%	50.9%
回答しない	1.5%	0.3%	1.8%
総計	77.5%	22.5%	100.0%
■学校区分	文系	理系	総計
[01]旧帝大クラス	2.8%	4.1%	6.9%
[02]6大学クラス	13.8%	1.8%	15.6%
[03]関東圏国公立大学	4.6%	1.8%	6.4%
[04]関東理系クラス	0.5%	1.8%	2.3%
[05]関東私立	11.3%	2.8%	14.1%
[11]関西主要私立クラス	10.0%	2.3%	12.3%
[21]その他国公立	7.2%	4.1%	11.3%
[22]その他私立	24.3%	3.6%	27.9%
[23]その他大学	3.1%	0.3%	3.3%
総計	77.5%	22.5%	100.0%

391名

2024卒		
文系	理系	総計
37.8%	14.5%	52.3%
37.2%	8.1%	45.3%
1.8%	0.6%	2.4%
76.8%	23.2%	100.0%
文系	理系	総計
4.8%	2.2%	6.9%
14.3%	1.8%	16.0%
3.8%	1.8%	5.5%
0.0%	2.2%	2.2%
16.0%	3.4%	19.4%
7.7%	1.0%	8.7%
6.1%	5.3%	11.5%
22.2%	4.8%	26.9%
2.0%	0.8%	2.8%
76.8%	23.2%	100.0%

477名

2023卒		
文系	理系	総計
39.3%	10.0%	49.3%
43.0%	6.8%	49.8%
0.7%	0.2%	1.0%
83.0%	17.0%	100.0%
文系	理系	総計
5.6%	2.2%	7.8%
20.4%	1.2%	21.6%
6.6%	1.7%	8.3%
0.5%	1.9%	2.4%
10.0%	1.5%	11.4%
7.3%	0.2%	7.5%
8.7%	2.7%	11.4%
22.1%	4.6%	26.7%
1.9%	1.0%	2.9%
70.7%	29.3%	100.0%

405名

2025卒		
■志望(択一)	n数	比率
専願:公務員	134	34.3%
併願	159	40.7%
専願:企業	98	25.1%
総計	391	100.0%

2024卒	
n数	比率
218	45.7%
82	17.2%
177	37.1%
477	100.0%

2023卒	
n数	比率
162	40.0%
74	18.3%
169	41.7%
405	100.0%

2025卒		
■内定取得(複数選択)	n数	比率
内定:公務員	249	63.7%
内定:企業	188	48.1%
未内定	16	4.1%
総計	391	-

2024卒	
n数	比率
204	42.8%
285	59.7%
35	7.3%
477	-

2023卒	
n数	比率
202	49.9%
216	53.3%
24	5.9%
405	-

2025卒		
■内定承諾(択一)	n数	比率
承諾:公務員	181	46.3%
承諾:企業	184	47.1%
未承諾	9	2.3%
未内定・進学	17	4.3%
総計	391	100.0%

2024卒	
n数	比率
200	41.9%
238	49.9%
9	1.9%
30	6.3%
477	100.0%

2023卒	
n数	比率
198	48.9%
179	44.2%
7	1.7%
21	5.2%
405	100.0%

No	区分	自治体	大学	学生	企業	タイトル	ページ
【1】市場動向							P.06
1	学生			●		学生の就職環境認識	P.07
2	自治体・企業	●			●	新卒採用市場の認識	P.07
3	大学		●			就職ガイダンスの実施時期	P.08
4	大学		●			学生の就職ガイダンス参加動向	P.08
5	学生			●		キャリアセンターの活用	P.09
6	大学		●			公務員就活に関する相談	P.09
7	学生			●		就職活動支援施策	P.10
8	学生			●		早期意識の変化	P.10
9	学生			●		公務員へのプラスイメージ	P.11
10	学生			●		公務員へのマイナスイメージ	P.11
11	自治体・学生	●			●	魅力的に映る自治体の特徴	P.12
12	学生			●		公務員志望理由	P.12
13	自治体・学生	●			●	募集職種・志望職種	P.13
14	学生			●		志望企業・自治体決定時期	P.13
15	自治体・企業	●			●	採用予定数の増減	P.14
16	自治体・企業	●			●	新卒採用における「量」と「質」の確保	P.14
17	自治体	●				採用予算	P.15
18	自治体・企業	●			●	採用予算の増減	P.15
19	自治体	●				既卒者の扱い	P.16
20	学生			●		公務員志望にあたっての不満・不足感	P.16
21	学生			●		理工系学生の動き1	P.17
22	学生			●		理工系学生の動き2	P.17
23	自治体	●				インターンシップ実施状況・実施時期	P.18
24	自治体	●				実施インターンシップの特徴・形式	P.18
25	自治体	●				インターンシップ未実施の理由	P.19
26	自治体	●				インターンシップ実施に向けた課題	P.19
27	学生			●		自治体インターンシップへの参加状況1	P.20
28	学生			●		自治体インターンシップへの参加状況2	P.20
29	学生			●		参加したインターンシップの内容	P.21
30	学生			●		自治体インターンシップ参加への意欲	P.21
【2】活動動向							P.22
1	学生			●		解禁前の就職活動推移	P.23
2	学生			●		2月以前の採用選考への参加	P.23
3	学生			●		プレエントリー・資料請求	P.24
4	自治体・企業	●			●	プレエントリー数の増減	P.24
5	学生			●		出願数と併願数、併願パターン	P.25
6	自治体・企業	●			●	合同セミナーへの参画状況	P.25
7	自治体・企業	●			●	合同セミナーへの参画状況(オンライン型のみ)	P.26
8	自治体・企業・学生	●			●	タイプ別のセミナー参加・参画状況	P.26
9	学生			●		学内セミナーへの参加状況(学生)	P.27
10	自治体・企業	●			●	学内セミナーへの参画状況(自治体)	P.27
11	大学		●			学内セミナーの実施状況	P.28
12	自治体・企業	●			●	採用説明会実施回数と参加学生数の増減	P.28
13	自治体・企業	●			●	採用説明会の時期と形式	P.29
14	学生			●		OB・OG訪問への取り組み	P.29
15	学生			●		OB・OG訪問の連絡手段・形式	P.30
16	自治体	●				選考方法	P.30
17	学生			●		一次面接への参加状況	P.31
18	学生			●		内定取得状況	P.31
19	学生			●		内定獲得先と最終承諾先	P.32
20	自治体	●				内定出しの時期	P.32
21	自治体	●				内定辞退状況と対策	P.33
22	学生			●		内定辞退の可能性と最終選考	P.33
23	学生			●		内定辞退のきっかけ・情報ソース	P.34
24	学生			●		内定辞退の理由・詳細ポイント	P.34
25	学生			●		内定承諾(意思決定)の決め手	P.35
26	学生			●		内定取得状況(月別)	P.35
27	自治体	●				内定者フォロー・内定者教育	P.36
28	学生			●		学生が望む内定者フォロー	P.36
29	学生			●		承諾(予定)自治体についての不安	P.37
30	学生			●		承諾(予定)企業についての不安	P.37

No	区分	自治体	大学	学生	企業	タイトル	ページ
【3】活動振り返り・展望							P.38
1	自治体	●				採用満足度	P.39
2	学生			●		就活の不満	P.39
3	学生			●		大学名による就職格差	P.40
4	学生			●		社風・職場の雰囲気の重要度1	P.40
5	学生			●		社風・職場の雰囲気の重要度2	P.41
6	学生			●		入社意思決定の参考情報源	P.41
7	大学・学生		●	●		学生・大学が重視する情報源・自治体情報	P.42
8	学生			●		就職活動の費用	P.42
9	学生			●		就職留年	P.43
10	大学		●			キャリアセンターが今後取り組むべき課題	P.43
11	大学		●			自治体に対する要望と就職環境への所感	P.44
12	自治体	●				苦戦職種と理系採用	P.44
13	自治体	●				新卒採用活動の取り組み・最も苦労したこと	P.45
14	自治体・企業	●			●	26卒採用計画数見通し	P.45
15	自治体・企業	●			●	有効になると思われる採用手段	P.46
16	自治体・大学	●	●			求人エリアの範囲	P.46
17	自治体	●				遠方学生へのアプローチ	P.47
18	自治体	●				民間志望学生へのアプローチ	P.47
19	自治体	●				エントリー者増加の課題と取り組み	P.48
20	自治体・学生	●		●		求める能力要件	P.48
21	学生			●		併願のボーダーライン	P.49
22	学生			●		公務員の併願状況	P.49
23	学生			●		民間と同じ試験で受験できることの認知度	P.50
24	学生			●		公務員が進路選択に入る割合と実状1	P.50
25	学生			●		公務員が進路選択に入る割合と実状2	P.51
26	学生			●		公務員を志望しなかった理由	P.51
27	自治体	●				学生が公務員を志望しないと思う理由	P.52
28	学生			●		公務員が選択肢になりえなかった理由	P.52
29	学生			●		就職活動中に知りたかった公務員の情報	P.53
30	大学		●			就職指導における公務員情報の不足感	P.53
【4】注目トピックス							P.54
1	学生			●		エントリー時におけるWeb対応の需要1	P.55
2	学生			●		エントリー時におけるWeb対応の需要2	P.55
3	自治体・企業	●			●	オンライン選考の実施状況	P.56
4	学生			●		オンラインツールの利用状況	P.56
5	自治体・企業	●			●	選考フローの実施方法	P.57
6	大学		●			就職支援のオンライン化についての取り組み	P.57
7	自治体・学生	●		●		新卒採用全体もしくは一部のオンライン化	P.58
8	自治体	●				「就職活動全体」のオンライン化による不足感(自治体)	P.58
9	学生			●		「就職活動全体」のオンライン化による不足感(学生)	P.59
10	大学		●			「就職活動全体」のオンライン化の懸念点	P.59
11	学生			●		ChatGPTの認知度と利用状況	P.60
12	学生・自治体	●		●		生成AIについて	P.60
13	自治体・大学・学生・企業	●	●	●	●	就活におけるAIツール活用の是非	P.61
14	学生			●		自治体の募集情報で重視しているもの	P.61
15	学生			●		学生が望ましいと思う職場環境1	P.62
16	学生			●		学生が望ましいと思う職場環境2	P.62
17	学生			●		LGBTについて1	P.63
18	自治体・大学・企業	●	●		●	LGBTについて2	P.63
19	自治体	●				大学との関係強化1	P.64
20	自治体	●				大学との関係強化2	P.64
21	学生・大学		●	●		親との関わり1	P.65
22	学生			●		親との関わり2	P.65
23	学生			●		就活におけるコスパ・タイパ1	P.66
24	学生			●		就活におけるコスパ・タイパ2	P.66
25	学生			●		学生が職場の雰囲気を判断する情報源	P.67
26	自治体	●				応募者増加に向けた告知の強化	P.67
27	自治体	●				採用試験早期化にともなう課題	P.68
28	自治体	●				採用スケジュール早期化への意識	P.68

■ご協力自治体様一覧(エリア>都道府県>区分>50音)

■北海道・東北 ■【北海道】石狩市役所／岩見沢市役所／恵庭市役所／江別市役所／帯広市役所／札幌市役所／士別市役所／砂川市役所／根室市役所／由仁町役場／【青森県】平川市役所／むつ市役所／【岩手県】北上市役所／二戸市役所／花巻市役所／紫波町役場／【宮城県】白石市役所／東松島市役所／【秋田県】秋田県庁／秋田市役所／潟上市役所／能代市役所／湯沢市役所／横手市役所／【山形県】山形県庁／寒河江市役所／東根市役所／【福島県】会津若松市役所／いわき市役所／二本松市役所／福島市役所

■関東 ■【茨城県】茨城県庁／笠間市役所／桜川市役所／下妻市役所／つくば市役所／行方市役所／【栃木県】大田原市役所／佐野市役所／那須烏山市役所／那須塩原市役所／日光市役所／真岡市役所／矢板市役所／小山市消防本部／【群馬県】安中市役所／大泉町役場／【埼玉県】入間市役所／加須市役所／久喜市役所／越谷市役所／狭山市役所／新座市役所／飯能市役所／東松山市役所／吉川市役所／鳩山町役場／【千葉県】柏市役所／佐倉市役所／千葉市役所／船橋市役所／八街市役所／東庄町役場／長柄町役場／【東京都】多摩市役所／豊島区役所／武蔵野市役所／瑞穂町役場／【神奈川県】相模原市役所／平塚市役所／寒川町役場

■中部 ■【新潟県】新潟県庁／阿賀野市役所／糸魚川市役所／小千谷市役所／柏崎市役所／加茂市役所／五泉市役所／上越市役所／胎内市役所／燕市役所／長岡市役所／【富山県】富山県庁／魚津市役所／高岡市役所／砺波市役所／【石川県】加賀市役所／金沢市役所／七尾市役所／【福井県】坂井市役所／鯖江市役所／福井市役所／【長野県】長野県庁／上田市役所／駒ヶ根市役所／諏訪市役所／【岐阜県】岐阜県庁／可児市役所／岐阜市役所／関市役所／土岐市役所／美濃加茂市役所／【静岡県】掛川市役所／裾野市役所／袋井市役所／富士市役所／牧之原市役所／【愛知県】稲沢市役所／大府市役所／江南市役所／田原市役所／知多市役所／豊明市役所／日進市役所

■近畿 ■【三重県】三重県庁／伊賀市役所／いなべ市役所／桑名市役所／志摩市役所／【滋賀県】甲賀市役所／高島市役所／長浜市役所／【京都府】京都府庁／宇治市役所／京田辺市役所／宮津市役所／【大阪府】大阪府庁／柏原市役所／門真市役所／河内長野市役所／羽曳野市役所／【兵庫県】尼崎市役所／川西市役所／宍粟市役所／たつの市役所／丹波市役所／西脇市役所／播磨町役場／【奈良県】奈良県庁／生駒市役所／橿原市役所／奈良市役所／田原本町役場／【和歌山県】和歌山県庁／海南市役所／新宮市役所／橋本市役所

■中国・四国 ■【鳥取県】鳥取県庁／鳥取市役所／【島根県】島根県庁／出雲市役所／大田市役所／浜田市役所／松江市役所／安来市役所／【岡山県】浅口市役所／井原市役所／高梁市役所／津山市役所／備前市役所／真庭市役所／【広島県】呉市役所／東広島市役所／【山口県】山陽小野田市役所／周南市役所／柳井市役所／【徳島県】徳島県庁／小松島市役所／三好市役所／【香川県】香川県庁／東かがわ市役所／【愛媛県】愛媛県庁／今治市役所／大洲市役所／四国中央市役所／八幡浜市役所／【高知県】高知県庁／高知市役所／土佐清水市役所

■九州・沖縄 ■【福岡県】福岡県庁／朝倉市役所／大牟田市役所／春日市役所／筑紫野市役所／中間市役所／直方市役所／宗像市役所／【佐賀県】佐賀県庁／小城市役所／佐賀市役所／【長崎県】雲仙市役所／平戸市役所／南島原市役所／【熊本県】荒尾市役所／玉名市役所／湯前町役場／【大分県】大分県庁／宇佐市役所／国東市役所／竹田市役所／【宮崎県】宮崎市役所／門川町役場／椎葉村役場／【鹿児島県】鹿児島県庁／出水市役所／いちき串木野市役所／鹿屋市役所／霧島市役所／薩摩川内市役所／垂水市役所／枕崎市役所／南さつま市役所／【沖縄県】沖縄県庁／浦添市役所／名護市役所／那覇市役所

■ご協力大学様一覧(50音順)

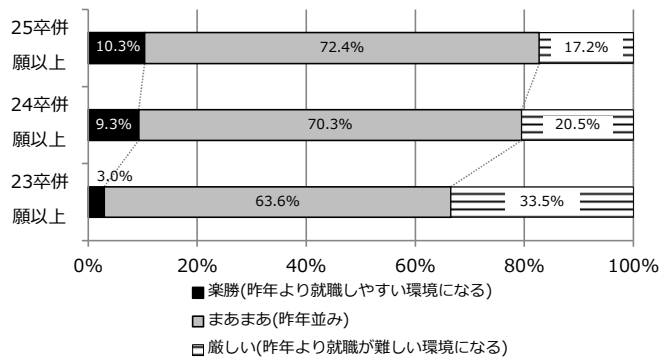
愛知教育大学／愛知県立大学／愛知工業大学／青森公立大学／青山学院大学(青山・相模原)／秋田大学／朝日大学／亜細亜大学／茨城大学／岩手県立大学／宇都宮大学／追手門学院大学／大阪経済法科大学／大阪工業大学／大阪公立大学／大阪産業大学／大阪商業大学／大阪体育大学／岡山理科大学／小樽商科大学／嘉悦大学／学習院女子大学／鹿児島大学／神奈川大学／鹿屋体育大学／鎌倉女子大学／関西外国語大学／関西学院大学／北里大学／吉備国際大学／岐阜大学／九州共立大学／九州国際大学／九州産業大学／九州大学／京都外国語大学／京都工芸繊維大学／京都産業大学／京都女子大学／京都先端科学大学／金城学院大学／釧路公立大学／熊本学園大学／群馬県立女子大学／群馬大学／甲子園大学／高知大学／甲南女子大学／甲南大学／神戸学院大学／神戸芸術工科大学／神戸松蔭女子学院大学／神戸大学／国際教養大学／国際武道大学／国土館大学／駒澤大学／札幌学院大学／札幌市立大学／札幌大学／静岡大学／芝浦工業大学／島根大学／上越教育大学／城西大学／城西短期大学／湘南工科大学／尚美学園大学／昭和女子大学／白百合女子大学／信州大学／成蹊大学／成城大学／摂南大学／専修大学／仙台白百合女子大学／創価大学／大東文化大学／高岡法科大学／高崎経済大学／高崎商科大学／拓殖大学／玉川大学／多摩大学／筑紫女学園大学／千葉科学大学／千葉工業大学／千葉商科大学／中央学院大学／中央大学／中部大学／津田塾大学／都留文科大学／帝京大学／帝塚山学院大学／帝塚山大学／天理大学／東海大学／東京海洋大学／東京学芸大学／東京家政大学／東京経済大学／東京工科大学／東京国際大学／東京情報大学／東京女子大学／東京都市大学／東京都立大学／東京農業大学／東京富士大学／東京未来大学／東北学院大学／東北工業大学／東北福祉大学／東北文教大学／東洋英和女学院大学／東洋学園大学／東洋大学／徳島大学／常葉大学／獨協大学／富山大学／長崎県立大学／長浜バイオ大学／名古屋市立大学／名寄市立大学／奈良学園大学／新潟県立大学／日本女子体育大学／日本大学／日本福祉大学／花園大学／姫路獨協大学／兵庫教育大学／広島大学／フェリス学院大学／福井県立大学／福井大学／福岡教育大学／福岡県立大学／福岡女子大学／福島大学／文化学園大学／北翔大学／北星学園大学／北海学園大学／北海商科大学／北海道大学／三重大／宮城学院女子大学／宮崎公立大学／武蔵大学／室蘭工業大学／明海大学／明治大学(生田・駿河台・中野)／ものつくり大学／山口県立大学／山口大学／山梨学院大学／山梨大学／横浜商科大学／横浜市立大学／酪農学園大学／立教大学／立正大学／和歌山大学／和洋女子大学

【1】市場動向

2025

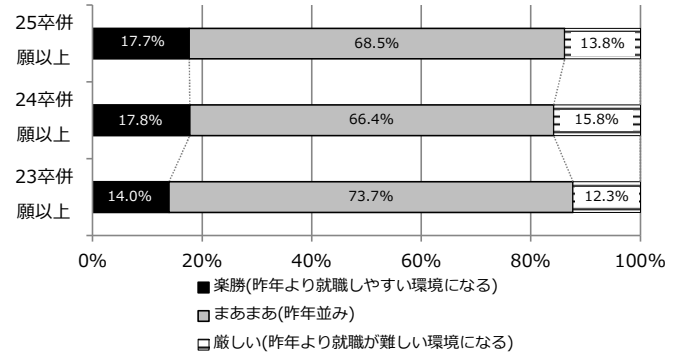
就活が始まる前の、今年の公務員への就職環境はどうなと思っていましたか。
実際に就活を通じ、今年の公務員への就職環境はどうでしたか。

始まる前(25卒併願以上)



- 【楽勝(昨年より就職しやすい環境になる)】人手不足で売り手市場なものと、近年は公務員志望が減っているという傾向を知っていたから。(高崎経済大学・文系・女性)
- 【楽勝(昨年より就職しやすい環境になる)】昨年よりも景気が良くなっていたため、民間の志望者が増えたと予想していたから。(愛知大学・文系・女性)
- 【まあまあ(昨年並み)】過去の採用率から判断(日本大学・文系・男性)
- 【まあまあ(昨年並み)】倍率が下がってきているという情報があったから。(明治大学・文系・男性)
- 【厳しい(昨年より就職が難しい環境になる)】試験制度と採用人数が変わったから(日本大学・理系・女性)
- 【厳しい(昨年より就職が難しい環境になる)】入職希望者のレベルが高いだけでなく、コロナの影響もあり、安定した職業として人気が高いと感じたからです。(愛知大学・文系・男性)

実際(25卒併願以上)



- 【楽勝(昨年より就職しやすい環境になる)】筆記試験の成績が4~5割でも合格しているから。(中央大学・文系・女性)
- 【楽勝(昨年より就職しやすい環境になる)】採用予定者数よりも多く合格者が出ていたから(東京理科大学・理系・男性)
- 【まあまあ(昨年並み)】競争率も試験の傾向も例年通りで、昨年までの情報を元に十分に対策できたため(近畿大学・理系・男性)
- 【まあまあ(昨年並み)】特別区の倍率は低下したが、市役所などは例年通りであったため。(千葉商科大学・文系・男性)
- 【厳しい(昨年より就職が難しい環境になる)】募集人数が少なかったため。(国士館大学・文系・男性)
- 【厳しい(昨年より就職が難しい環境になる)】面接が意外と大変だった(関西大学・文系・女性)

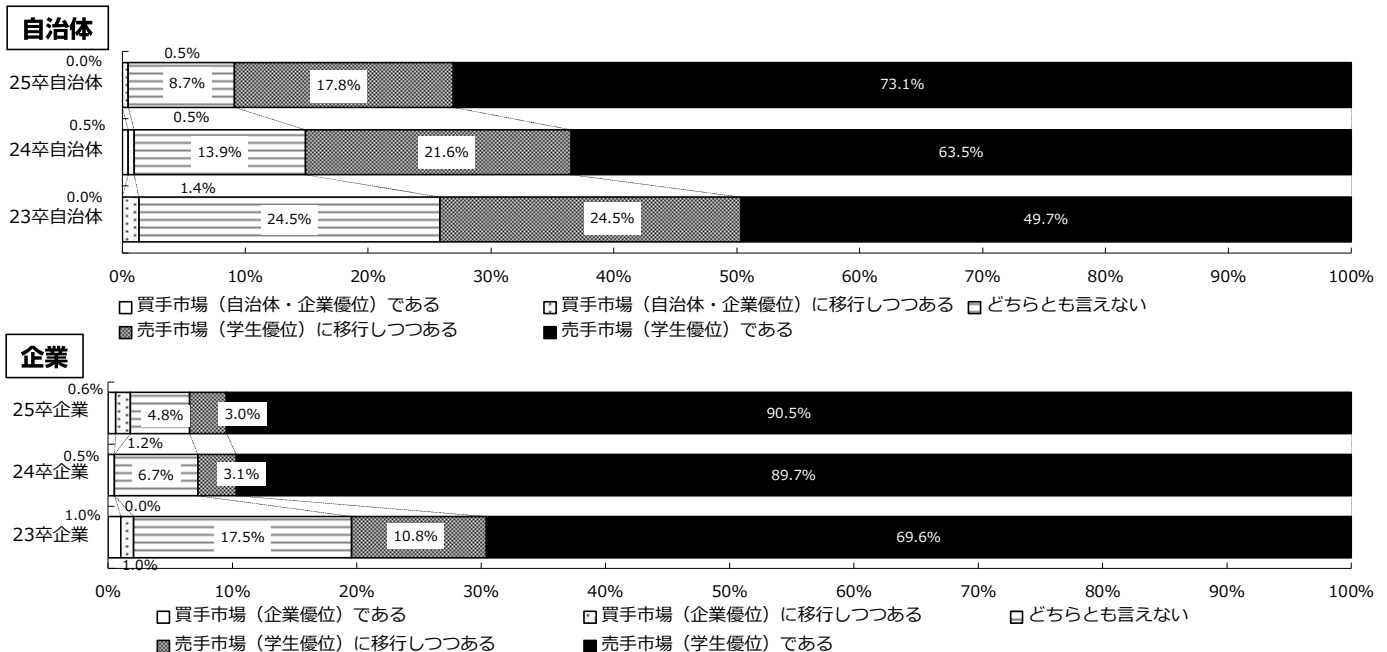
昨年同様、活動前から活動後へ「就職しやすい」という印象が増加

公務員志望者にとって、通常の筆記試験の他SPI対策等、選考のハードルが高いという印象を持つ傾向にある。しかし、実際の就活を終えると当初のイメージより「就職しやすい環境」であったと思う割合が増え、売り手市場が継続中であることが伺える。

【自治体・企業】新卒採用市場の認識

【1】市場動向 | 2

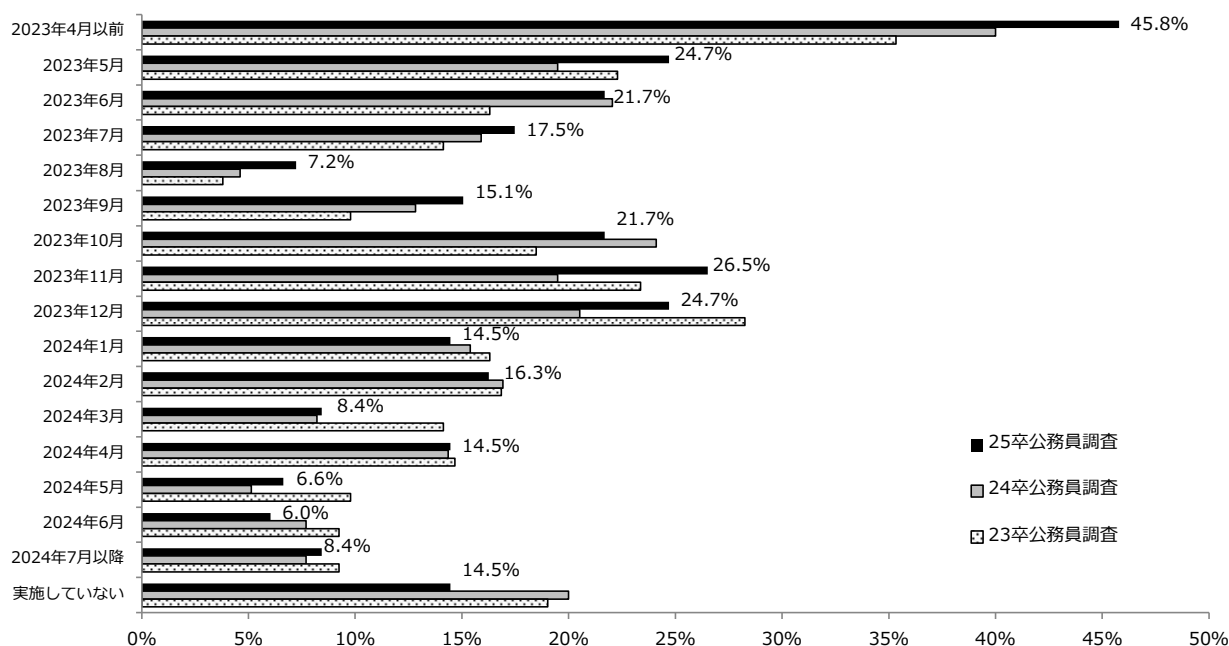
新卒採用市場について、当てはまると思われるものを1つお選びください。



年々増加する「売手市場」という認識、70%以上にまで拡大

2年前の調査では「売手市場」とであるという回答は約半数だったが、今回25卒調査では、73.1%が「売手市場」17.8%が「売手市場に移行しつつある」と回答し90%以上は学生優位という認識が自治体側でも拡大していることがわかる。

2025卒学生向けかつ公務員向けの就職ガイダンス実施時期について、当てはまるものを全てお選びください。



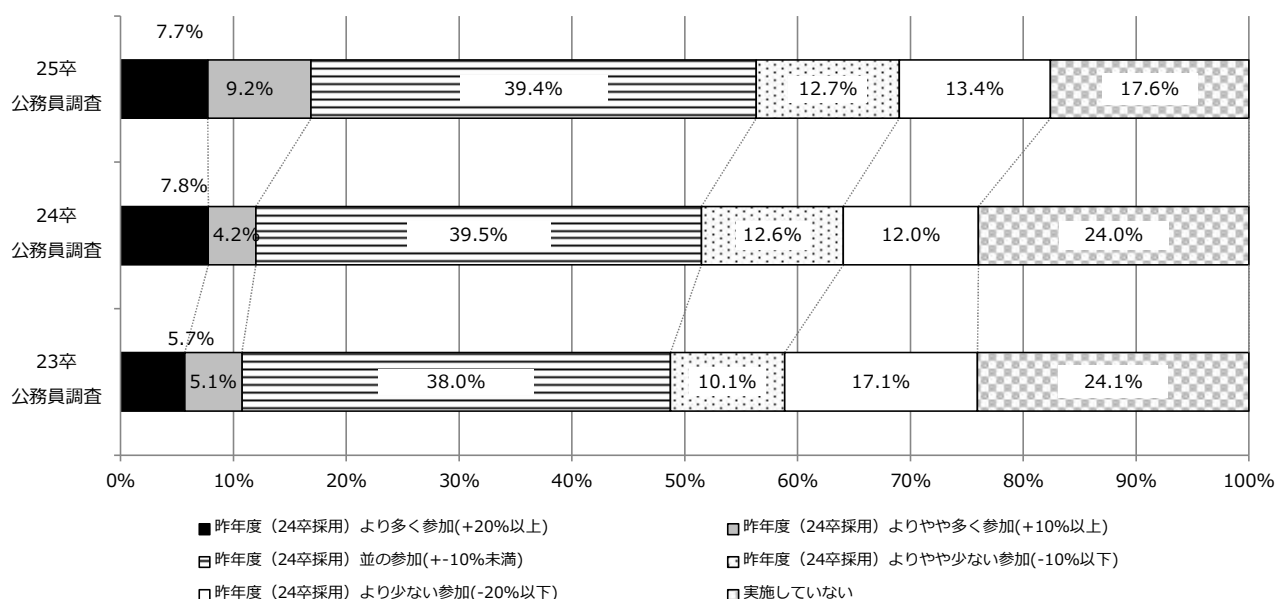
公務員ガイダンス：昨年同様早期化、実施していない大学は20%から14.5%へ

「4月以前」の回答は昨年の40%から5.8増の45%を超え、民間企業の早期化・自由化に伴い、公務員の全体像や対策など早くからの情報提供機会が求められている。

【大学】学生の就職ガイダンス参加動向

【1】市場動向 | 4

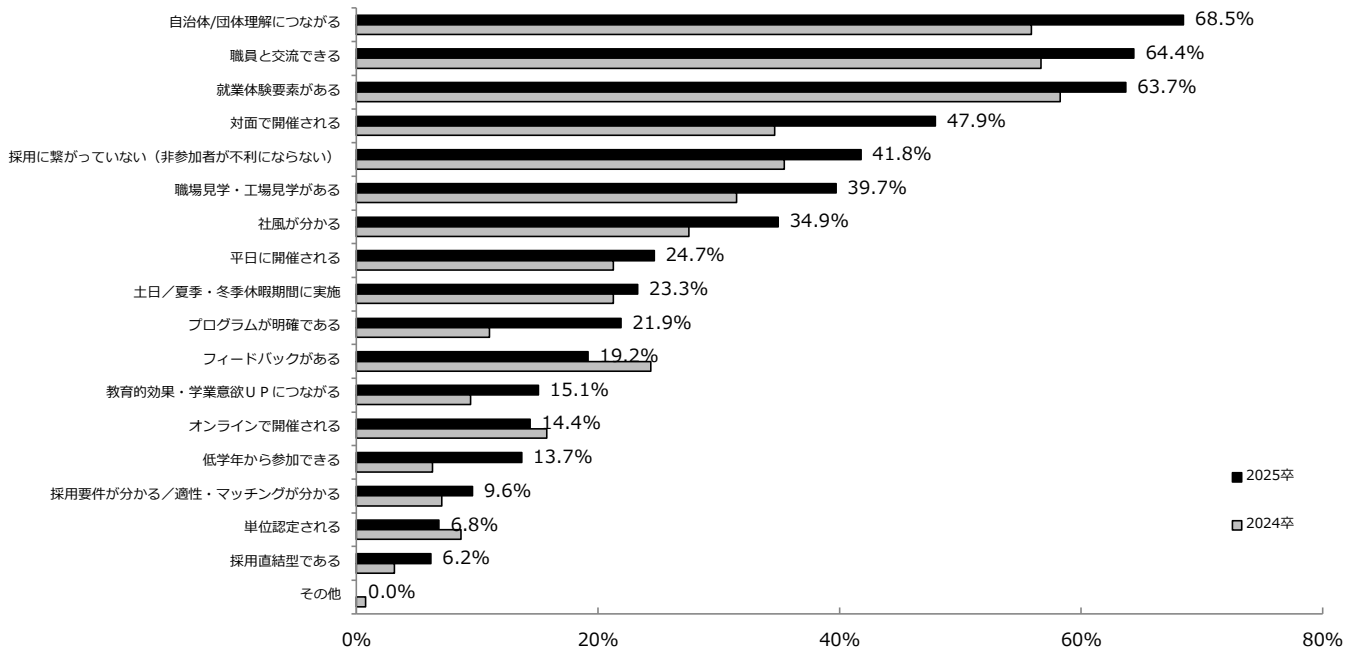
2025卒学生向けかつ公務員向けの就職ガイダンスへの参加者数増減について、当てはまるものを1つお選びください。



参加率上昇、併願志望者の増加も影響か

民間企業と公務員の両方を視野に入れ就職活動を行う学生も増加しており(参考:【3】活動振り返り22)参加状況は56.3%と増加の一途をたどる。「実施していない」と回答した大学は減少傾向にあり、公務員ガイダンスの需要の高さがうかがえる。

参加したインターンシップの特徴を教えてください。（形式は対面・オンライン問わず）※複数参加している場合、当てはまるものを全てお選びください。



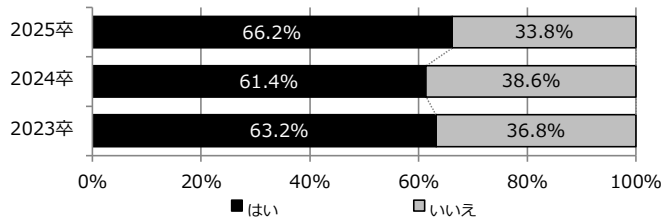
職場がよく「理解できる」プログラムへの参加が増加

「自治体／団体理解につながる」「職員と交流できる」「就業体験要素がある」が6割を超え、「対面での開催」「職場見学がある」「社風がわかる」など働く職場が理解できるプログラムが人気ようだ。一方でフィードバックや単位認定等のその職場でなければいけないプログラムは減少傾向に。職場理解が進むプログラムは今後も継続していきたい。

【学生】自治体インターンシップ参加への意欲

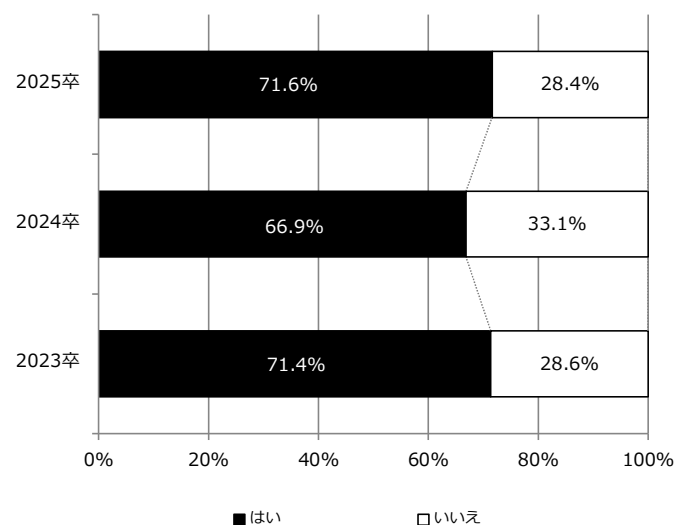
自治体インターンシップがあった場合、参加したいと思いますか。理由もあわせて教えてください。
就職活動をしていた当時、自治体インターンシップの情報が包括されたナビサイトがあった場合、利用したいと思いますか。

参加有無



- 【はい】民間企業に限らずあらゆる視野を確保するため利用してみたいと感じた。(京都産業大学・文系・男性)
- 【はい】民間と違って、公務員の仕事は中身を知れる機会、働いている方と触れ合える機会がとてもなく、働くことへの想像が付きにくいと民間の就活も通じて感じたから。(中央大学・文系・女性)
- 【はい】職場の雰囲気が分かるためミスマッチを防げるから(中京大学・文系・女性)
- 【はい】採用に直結はしないが、面接で話すネタになったり、職員の方に職場のリアルな話を聞くことができたので、得られるものが多いと感じたから。(愛知大学・文系・女性)
- 【はい】公務員の特長上、筆記さえ通っていれば面接までストレートで行ける。しかし自治体によって就業形態も異なるし、HPの情報が簡略であったことから他の点をアピールする上でもインターンシップに参加するべきだと思った。(日本大学・理系・女性)
- 【はい】企業との違いも含めて、様々な視点から就職先を見ることができると思うからです。(神戸大学大学院・理系・男性)
- 【いいえ】無給のことが多く、実際の配属先の雰囲気が分かる可能性が低いから。(埼玉大学・文系・男性)
- 【いいえ】企業と違って、インターンと選考は別として考えられるから。(神戸大学・文系・女性)

ナビサイトの利用希望



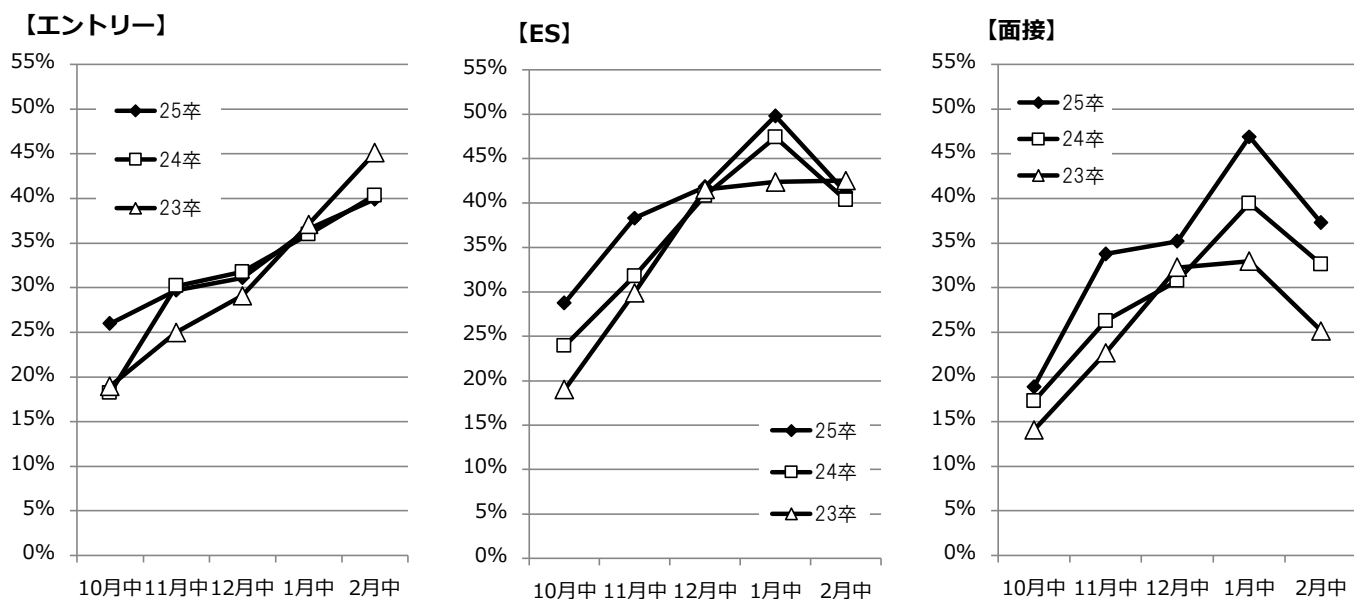
選考に進むためではなく「視野を広げる」「ミスマッチを防ぐ」ため参加を希望

参加希望は過去3年で1番高い結果に。「雰囲気を知れる」「あらゆる視野を広げることができる」等 得られるものが多いという声が目立つ。参加したいと思わない理由では行ったところで雰囲気が雰囲気はわからなさそう等の理由も。ナビサイトの需要も高いため、実施の有無や内容を適宜提供することは学生にとっても有意義となるだろう。

【2】活動動向

2025

前月の1か月間で、あなたがおこなった事、経験した事をすべて選んでください。(複数選択)



※(月例)学生アンケート 2023年10月-2024年2月調査より

11月と1月に早期選考の動きが活発化

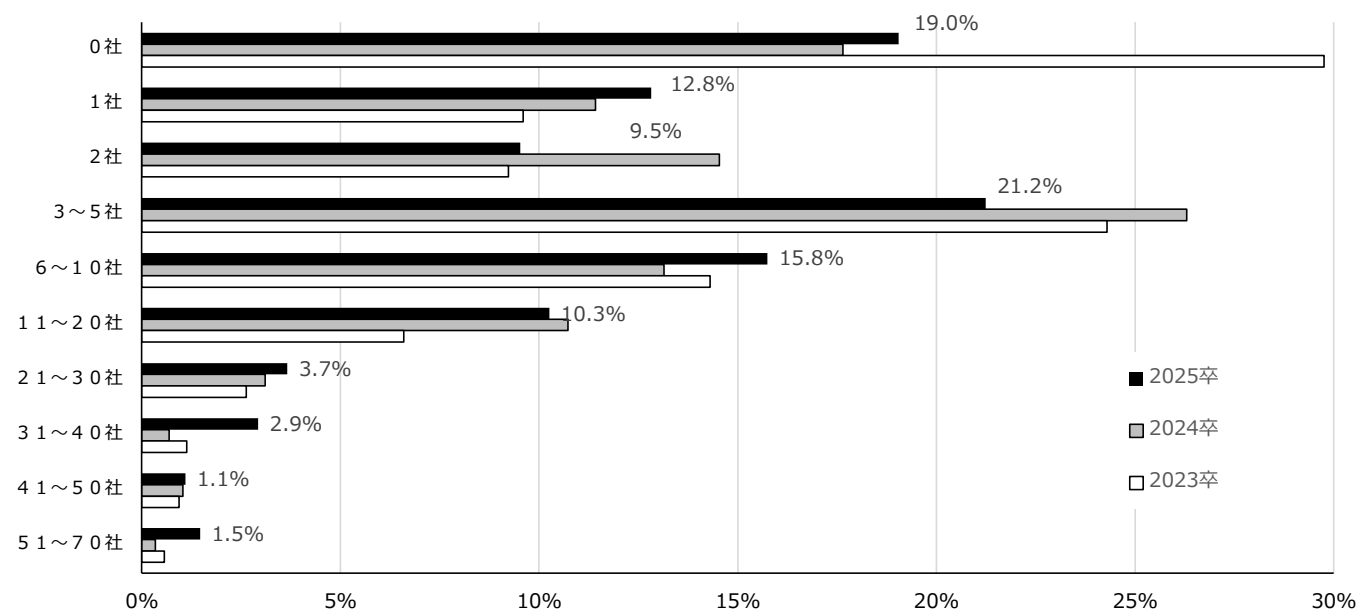
エントリーは前年よりハイペースでスタートしているが、その後スローペースに転じている。エントリーシート(ES)は前年よりハイペースで進み、11月と1月の上昇が目立つ。同傾向は面接でさらに顕著となっている。25卒の早期選考は、11月と1月に学生の動きが活発だったことが分かる。

【学生】2月以前の採用選考への参加

一般調査
(学生ALL)

【2】活動動向 | 2

企業に「採用「本選考」のエントリー（プレエントリー）」した数を教えてください。

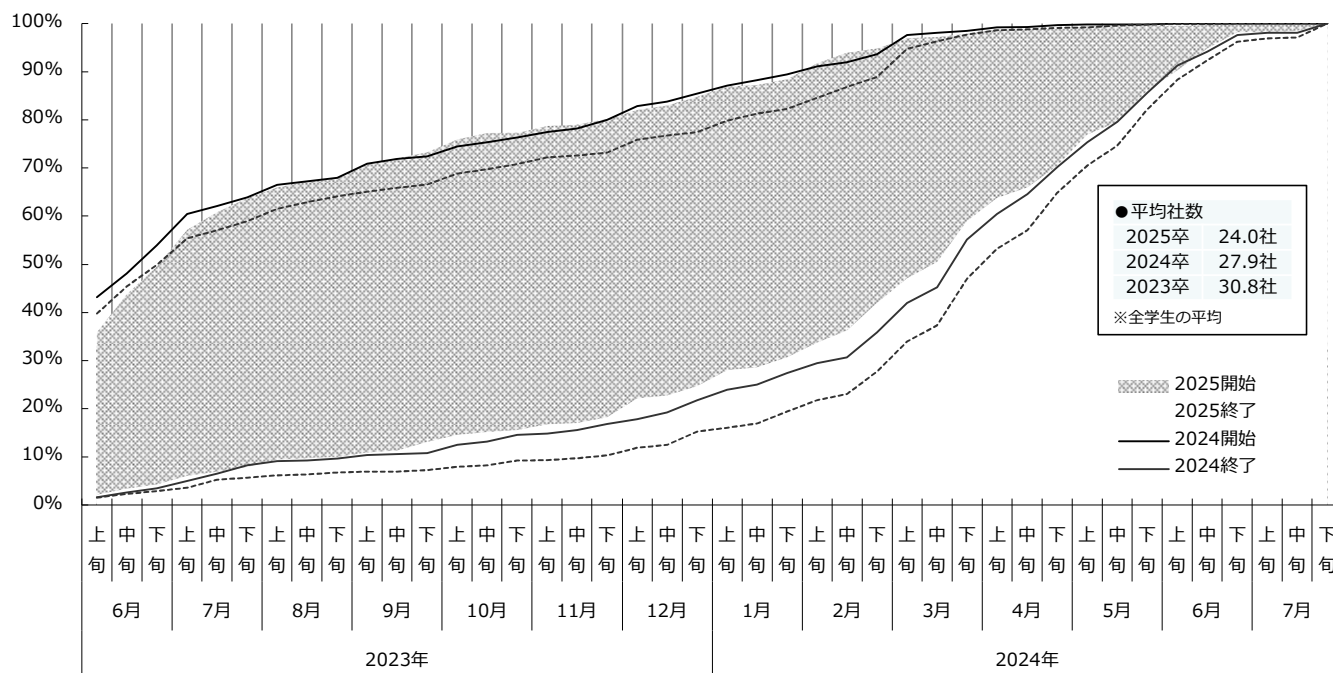


※(月例)学生アンケート 2024年2月調査より

プレ期の本選考エントリー社数は増加

2月調査の学生アンケートで、本選考のエントリー社数を学生に尋ねたところ、「21～30社」以上の項目は全て前年より増加した。平均社数は23卒で6.6社、24卒が7.2社、25卒は10.5社と年々プレ期のエントリー社数が増加している。一方で、「0社」「1社」も増えている。プレ期の活動量は、学生による格差が目立ち始めている。

就職サイト・企業採用サイト等からプレエントリー・資料請求をした時期はいつごろですか？
また、何社程度しましたか？

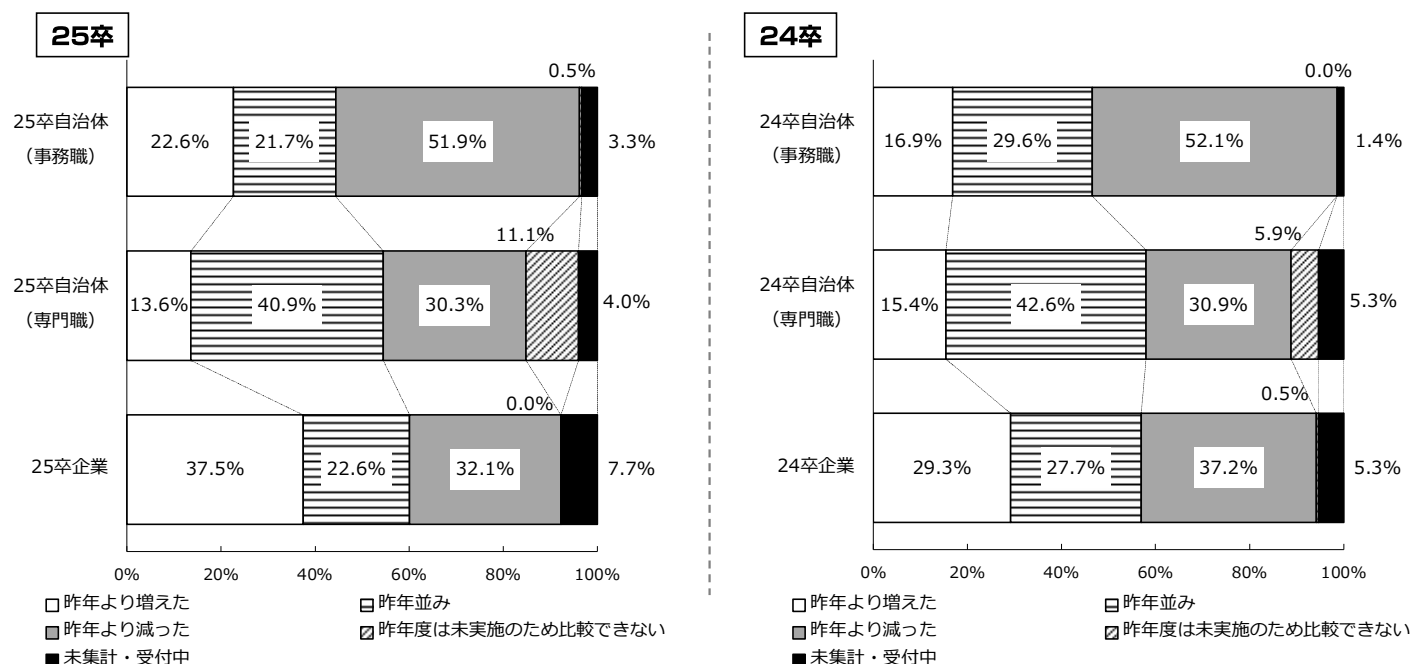


活動量の低下は就活初期段階から顕著に

プレエントリー・資料請求の平均社数は、23卒30.8社、24卒27.9社、25卒24.0社と連続して減少している。開始時期を見ると、6月～7月中旬まではスローペースだが、7月下旬以降は前年同ペースで進んでいる。また、就活ルールの3月広報開始を感じさせる動きは一切見当たらず、採用選考に与える影響は皆無と言った状況になっている。

【自治体・企業】プレエントリー数の増減

事務職の志望者数の増減について、当てはまるものを1つお選びください。
専門職の志望者数の増減について、当てはまるものを1つお選びください。

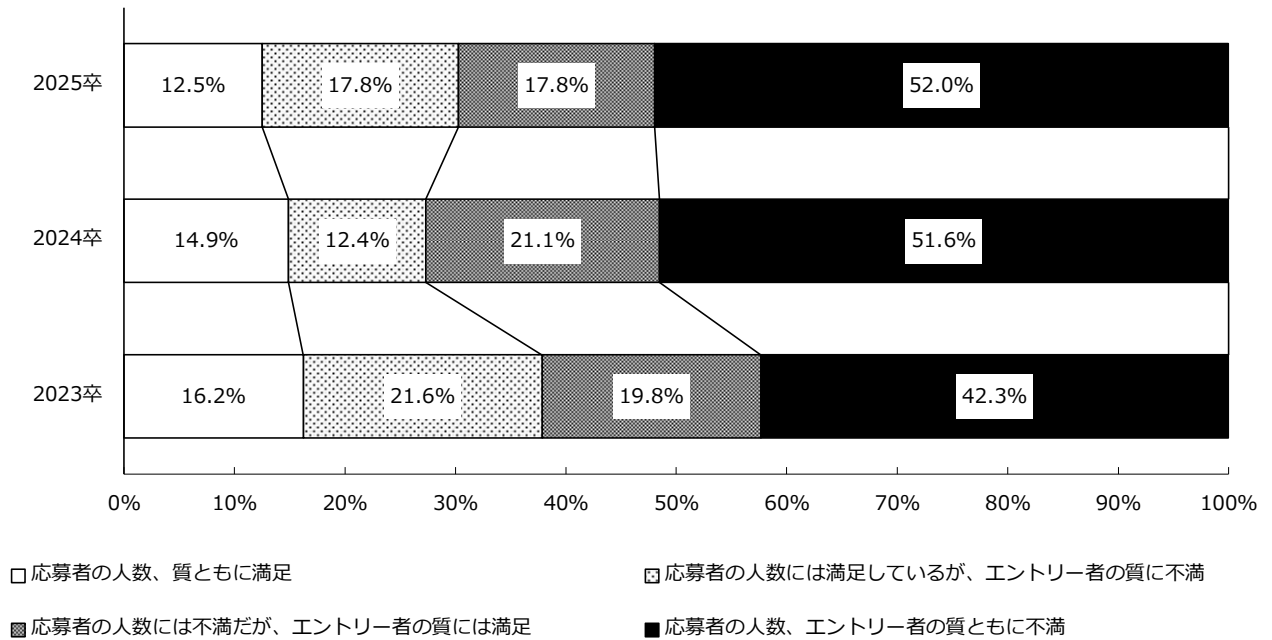


事務職の志望者数は増加傾向

25卒は「昨年より増えた」が事務職で昨対+5.7pt、企業で+8.2増加しており、売手傾向は若干緩和したと言える。専門職では昨年並み以上が昨対減ではあるが、「昨年度は未実施」が昨対2倍となっており、次年度の調査結果に注目したい。

【3】活動振り返り・展望

今期のこれまでの採用満足度について、当てはまるものを1つお選びください。



応募者数、質、ともに「不満」が約半数、両方「満足」は年々減少傾向

25卒の採用状況に関して自治体側はかなり厳しい結果となっている。応募者人数、エントリー者の質の両方「不満」は昨年度と同様だが、昨年度から増えているのは「エントリー者の質に不満」である。量もさることながら、質に対して特に課題感が残るようだ。

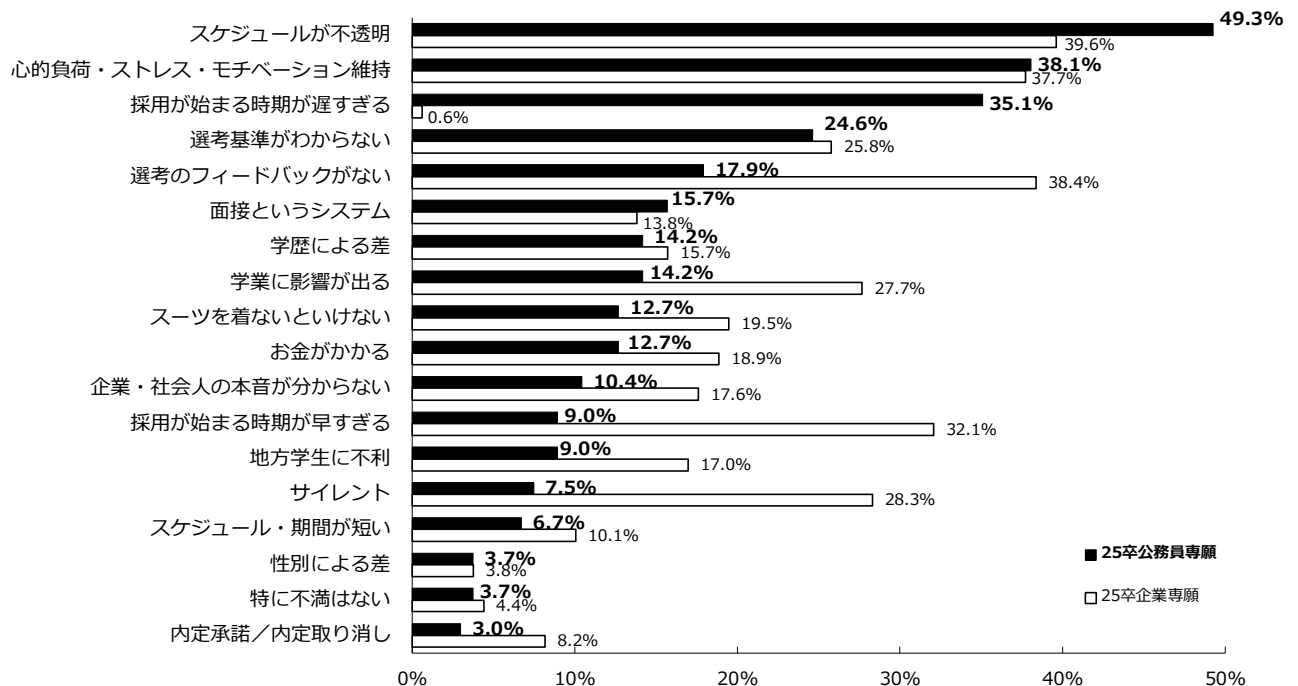
【学生】就活の不満

企業専願

公務員専願

【3】活動振り返り | 2

就活（のシステム全体）に対して不満がある部分はどこですか。5つまで選んでください。

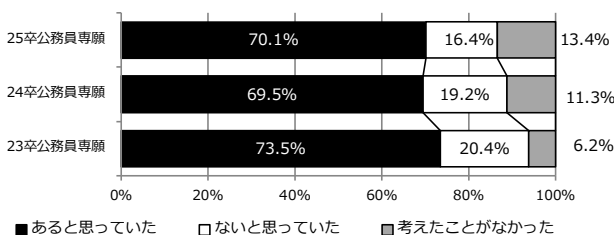


公務員専願者は企業専願者に比べスケジュールに関しての不満が高い結果に

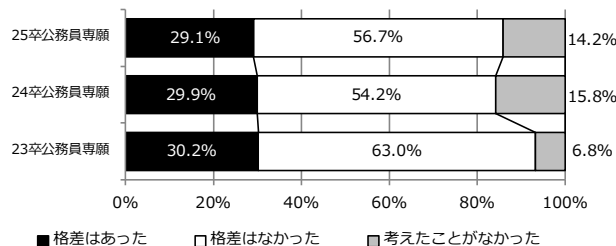
公務員専願者は企業専願者と比べるとスケジュールが不透明、採用開始時期が遅いことに対して不満を抱いている。一方で、学業への影響やサイレント、内定取り消しなどは低く、学校生活に寄り添い一人ひとり丁寧に対応をしていることが伺える。今後は志望者を逃さないためにも、良い部分は伸ばし、スケジュールは予め告知するなどフォローをしていきたい。

実際に就活を行なってみて、「大学名による就職格差」はあったと感じましたか？
また、就職格差を感じたエピソードがあれば具体的に教えてください。

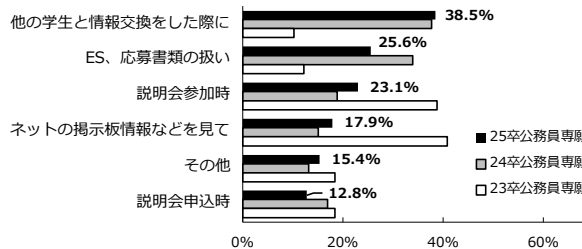
就職格差の有無について（択一）



実際に就活格差を感じたことがあるか（択一）



就職格差を感じたシチュエーション



就職格差を感じたエピソード

- 先生がOBであるのは他校との大きな差を感じる(国士舘大学・文系・男性)
- レベルの高い大学の学生が面接の時に大学名や学部について触れられて相性が良いと言われていた。(愛知大学・文系・女性)
- 国家総合職人事院の官庁訪問に行ったが、エントリーシートの時点で、面接回数が決められていたと感じたため。また、官庁訪問シートには学歴を書く欄がある。(中央大学・文系・男性)
- 大学により学生の就活進行状況に差があると感じた、有名大学であればあるほど早くから内定をもらっている印象(東海大学・文系・女性)
- 地方公務員を受けるなかでは特に意識していなかったが、国家公務員の官庁訪問の際は有名大学の受験生に囲まれて勝手に劣等感を感じた。人事の方と接する中では、特に格差は感じなかった。(明治学院大学・文系・女性)

公務員専願学生の約3割が学歴格差を実感

就職格差が実際にあったと感じた学生は29.1%となり約6割が就職格差を実感している「企業就職学生」を大きく下回る。しかし個別の状況に目を向けると訪問シートで学歴が求められることや大学名によって面接の反応が異なるなど、格差を感じたという声があった。

【学生】社風・職場の雰囲気の重要度 1

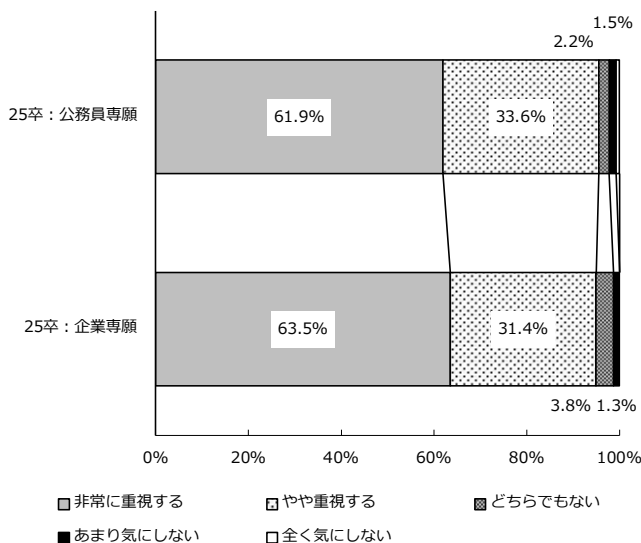
企業専願

公務員専願

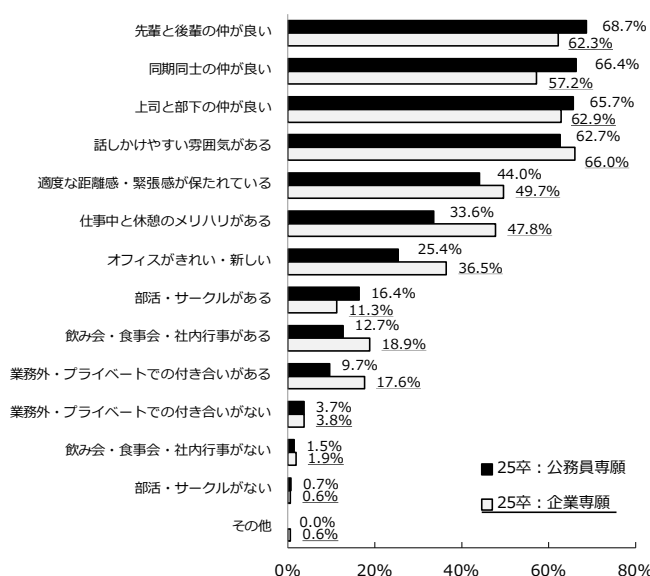
【3】活動振り返り | 4

応募・エントリーをするにあたり、「社風・職場の雰囲気」をどれくらい重視しますか。
「雰囲気・人間関係が良い」と感じるイメージを教えてください。

「社風・職場の雰囲気」の重要度



「雰囲気・人間関係が良い」と感じるイメージ



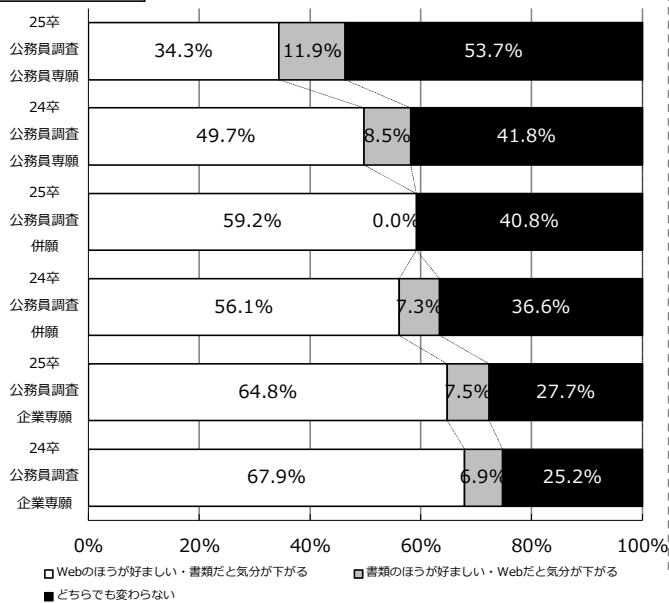
職場の社風・雰囲気の重要性、90%以上の学生「重視する」

社風や雰囲気を重要視する傾向は、企業専願、公務員専願に関係なく、どの学生からみても「重要」という回答となった。また「雰囲気・人間関係がよい」と感じるイメージに関しては、『先輩と後輩』『同期』『上司と部下』の順番で仲が良いことが重要のようだ。

【4】 注目トピックス

自治体にエントリーする際に書面での応募とWebでの応募で、気持ちに差が出ますか。理由もあわせて教えてください。(企業志望者は最も近い考えを選択してください)

気持ちの差



活用場面

- 【書類のほうが好ましい・Webだと気分が下がる】書類で手書きのほうが1人1人の個性が感じられるから。(近畿大学・文系・男性)
- 【書類のほうが好ましい・Webだと気分が下がる】書類の方が手間がかかるが、その分辞退しないように気持ちが引き締まる(中央大学・文系・女性)
- 【書類のほうが好ましい・Webだと気分が下がる】機械音痴なため、書類に直接書いた方が気分が上がる。また自分を文字によってアピールできる。(愛知学院大学・文系・男性)
- 【どちらも変わらない】志望度に差はないから(日本大学・文系・男性)
- 【どちらも変わらない】webだと簡易的でいいし、書面だと自分の字でなんとなく人柄を伝えられるから。(帯広畜産大学大学院・理系・男性)
- 【どちらも変わらない】伝わる内容は同じであるが、若干手書きの方が熱意は伝わる(関西大学・理系・男性)
- 【Webのほうが好ましい・書類だと気分が下がる】書類でわざわざ手書きしたり、印刷するのは面倒。(相山女学園大学・文系・女性)
- 【Webのほうが好ましい・書類だと気分が下がる】時代的にwebでエントリーできない自治体や企業は時代遅れだなと感じてしまうことや、そもそも書類で提出することへの非効率さを感じてしまうため(東京都立大学大学院・理系・男性)
- 【Webのほうが好ましい・書類だと気分が下がる】何百字、何千字と書かなければいけない書類なのに1文字たりとも書き間違えてはいけないという心理的ストレスが苦痛であるため。加えて字の上手さでも影響があるため。(日本大学・理系・男性)
- 【Webのほうが好ましい・書類だと気分が下がる】少数の企業への応募であればいいかもしれないが、かなりの量応募するとなると億劫になる。(京都女子大学・文系・女性)

公務員・企業併願者への負担軽減がカギ

公務員専願者はどちらでもか変わらないが増加している。どちらにも良さがありエントリー方法で差が生まれることはないという回答。数を提出する場合はWebの方が時短になる一方、手書きの方が個性や気持ちが伝わるという考えもあるようだ。ただ、公務員・企業併願者は提出する数が多くなるため負担のかからないWebの方が応募のハードルは下がるだろう。

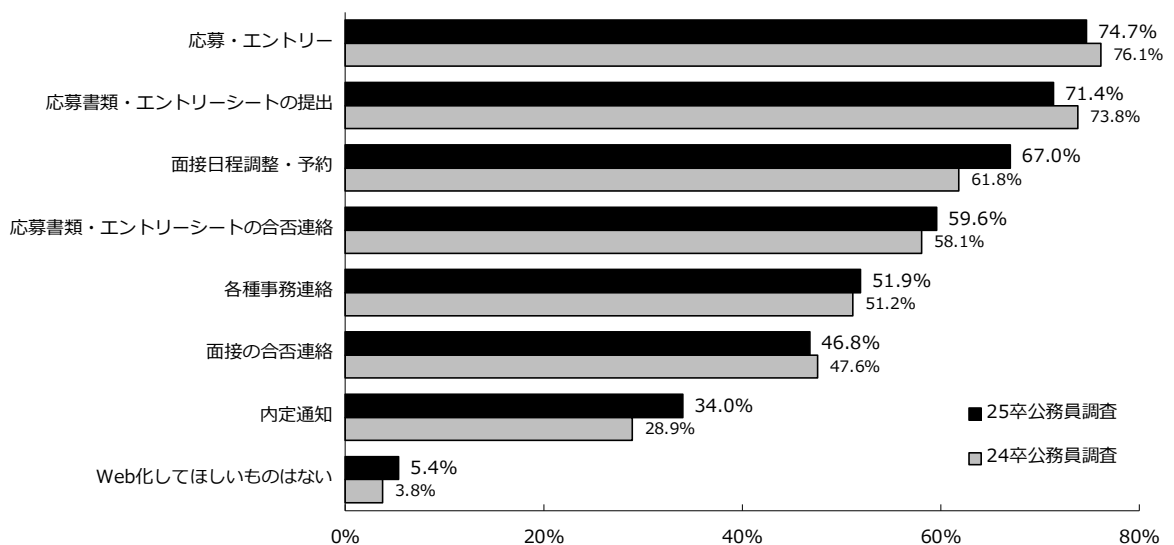
【学生】エントリー時におけるWeb対応の需要2

公務員調査
(学生ALL)

【4】注目トピックス | 2

選考フェーズについて、紙や郵送・電話等でなく、Web対応してほしいと思うものを教えてください。

活用程度・頻度



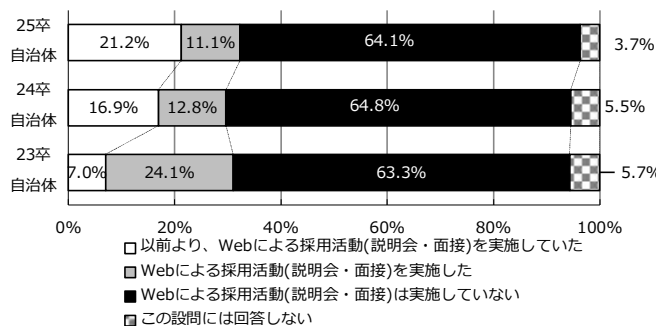
相手とのやり取りが必要な「面接日程調整」は簡略化したい傾向

エントリーなどのWeb対応は引き続き多いものの、細かなやり取りが必要となる「面接日程調整・予約」が増加した。民間企業ではWeb対応がメインとなっており、そもそもの日常生活でも予約などはWebのできる時代だからこそその回答なのかもしれない。

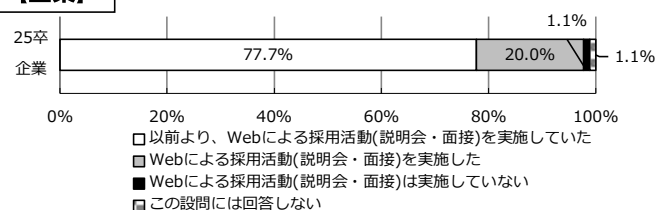
採用活動にて、オンライン選考（Web説明会・Web面接など）を行いましたか。またオンライン選考を実施している団体・企業様に質問です。Webによる採用活動は、どの採用プロセスで実施しましたか。

オンライン選考実施有無

【自治体】

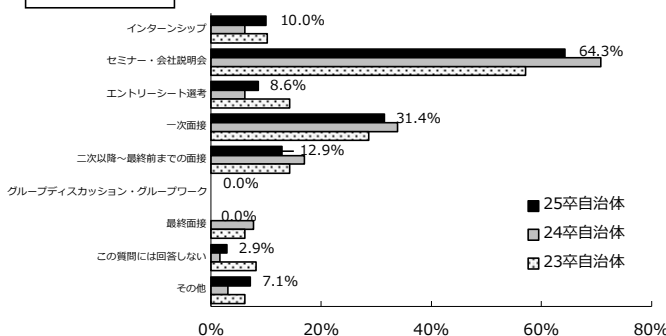


【企業】

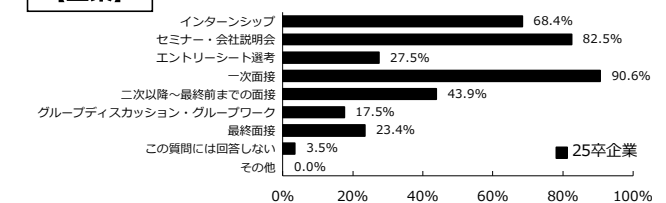


実施したタイミング

【自治体】



【企業】



Webによる採用活動を実施していない、割合は60%以上と過半数

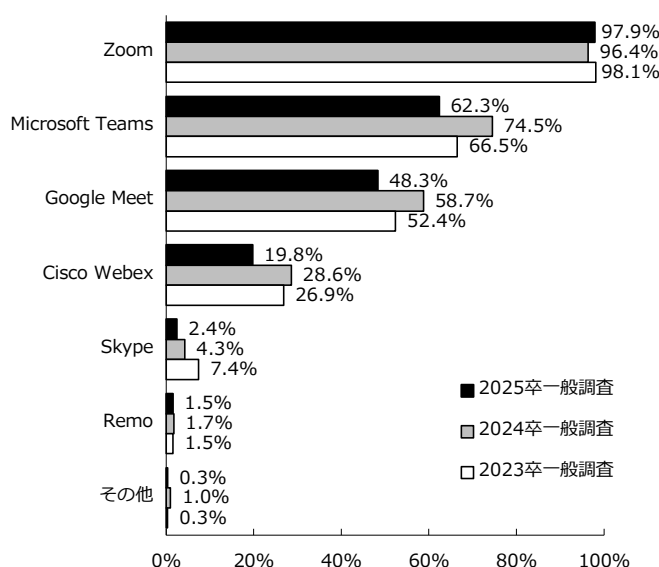
Webによる採用活動を実施している割合は、昨年度とほぼ同等の3割程度にとどまった。また、実施しているプロセスは「セミナー・説明会」が60%超えで、一次面接までWebで実施は30%程度となっている。企業と比較しても、Webでの採用活動は少ない状況が続いている。

【学生】オンラインツールの利用状況

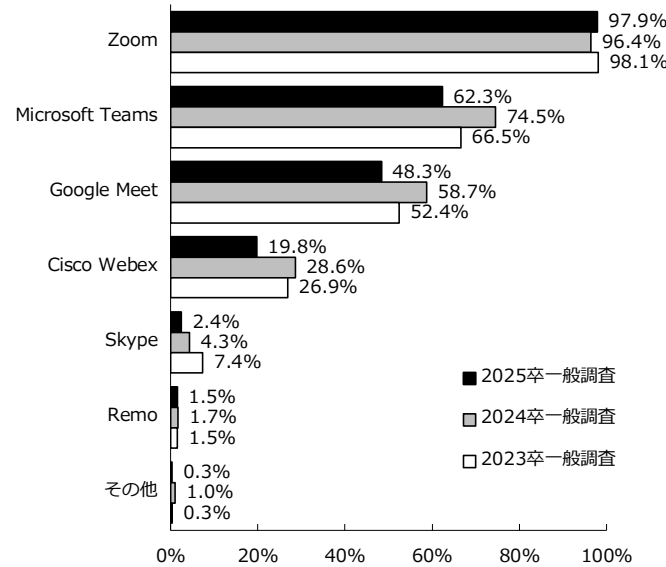
一般調査
(学生ALL)

大学の就職活動支援で、利用したことのあるツールを教えてください。(複数選択)
就職活動のオンライン説明会等で、利用したことのあるツールを教えてください。(複数選択)

大学の就職活動支援で利用したツール



就職活動で利用したツール



オンラインツールは、Zoomが圧倒的シェア

ここ数年ですっかり定着したオンラインツールだが、Zoomが97%と圧倒的シェアという結果になった。TeamsやGoogle Meetは大学の就活支援での利用は減少傾向のようだ。

公務員採用市場総括 2025年卒(令和6年度)版

2025年1月23日 第1刷発行

代表者 / 平田真人

発行 / 就職情報研究所

編集 / ブンナビ公務員プロジェクトチーム